

## 研究導入教育特論（文献検索・活用法、プレゼンテーションの基本、研究倫理）

（選択・講義1単位）[教職（家庭）必修]

林 芙美・田中 茂穂

### 【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：栄養学、健康科学分野の研究を進めるために必要な基本的な知識とスキルの修得を目標とする。具体的には、①文献検索・活用方法の理解。②プレゼンテーションの基本的スキルの修得、③研究倫理に関する指針等の理解、である。また、この授業は、ディプロマポリシーにあるように、栄養学の幅広い視野に立って多様で精深な学識の修得に必要な基礎知識を養うことを目的としている。

授業の概要：研究を進めるために必要な基本的事項として、以下の学修を行う。①先行研究に関する国内外の文献検索方法とエビデンステーブルの作成。②研究会や学会発表の際のプレゼンテーションの基本的スキルとしてパワーポイントの作り方、話し方のポイント、③研究倫理に関する指針と倫理審査委員会への申請、利益相反について、データの管理、など。あわせて、身近な健康情報を題材に、科学的根拠に基づいて情報を批判的に読み解く視点を養う。

### 【授業計画】＜英語併用可＞

- ① 文献検索・活用法1：身近な健康情報を批判的に読み解く視点（林）
- ② 文献検索・活用法2：データベース検索とハンドサーチの実際（林）
- ③ 文献検索・活用法3：エビデンステーブル作成とエビデンスの評価（林）
- ④ プレゼンテーションスキル1：研究報告のためのパワーポイントの作成（林）
- ⑤ プレゼンテーションスキル2：研究発表における話し方、質疑応答の仕方（林）
- ⑥ 研究倫理1：人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等の倫理指針（田中）
- ⑦ 研究倫理2：倫理審査委員会への申請の必要性和研究における利益相反（COI）（田中）

### 【授業外学習】

学会や研究会に参加し、上手なプレゼンテーションを見る、聞く体験を重ねる。  
倫理教育に関しては、大学院生は全員 CITI Japan Program を受講する。

### 【成績評価の方法と基準】

3つのパート（文献検索・活用、プレゼンテーション、倫理教育）の学修をふまえて、総合的なレポートを課す。総合レポート（60%）、授業内で作成する成果物（20%）、および授業への参加態度（20%）で総合的に評価する。

### 【教科書】

指定なし

### 【参考書】

その都度、指示。

### 【教材】

その都度、資料を配布する。

### 【備考】

修士課程の学生は全員履修すること。他大学院から進学した博士後期課程の学生にも聴講を勧める。